

審 議 会 会 議 録

会議名称	平成23年度 第2回伊達市社会教育委員会議		
議 題	伊達市社会教育委員会の活動について等		
開催日時	平成23年10月27日（木曜日）13時55分から15時50分まで		
場 所	伊達市役所第2庁舎2階第1会議室		
出席者	社会教育委員8名（欠席4名）、市教委5名		
	所管部課名	教育部生涯学習推進課	
公開 非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	

【会議の概要】

1. 開 会

2. 教育長挨拶

3. 議 事（進行及び報告第1号及び2号は議長が説明、第3号は市教委より説明）

■報告第1号 第31回北海道市町村社会教育委員長等研修会参加報告について

■報告第2号 第51回北海道社会教育研究大会（石狩大会）参加報告について

■報告第3号 平成23年度胆振管内社会教育委員研修会開催要項について

※平成23年度胆振管内社会教育委員等研修会は胆振教育局と共同開催することとなったため、昨年度と異なり研修会当日は伊達市社会教育委員の方々の運営協力をいただきず実施する旨説明。

4. 情報交換（進行：議長）

■出席委員から各委員の社会教育活動について、事前配布資料に基づき説明

【説明・質疑・応答（特記事項）】

〔団体名：北海道伊達高等学校PTAについて〕

- ・北海道伊達高等学校は、西は長万部町、東は登別市から通っている生徒がいるほか、剣道の強い選手が全道から20名ほど集まっている。
- ・PTA活動を通して保護者と教師が共に学び、共に考えて、共に行動することが学校づくりに一番大切なことだと考えている。
- ・今後も学校祭やPTA活動を通して学習するとともに、地域貢献の出来る活動をしていきたい。
- ・PTA活動は小学校→中学校→高等学校と生徒の年齢が上がるにつれ、保護者の関心が薄れていくのでもっと関心を持ってもらいたい。

（意見・質疑）

- ・伊達高等学校のPTAは団結力と行動力があり、活動は活発であると感じている。
- ・主な活動の「校外指導」と「保健安全」について伺いたい。

→校外指導は青少年の育成、保健安全は性教育や健康に関わることとお考えいただきたい。

〔団体名：伊達市校長会について〕

- ・総合学習など様々な場面で地域にお世話になっている。
- ・地域に根差した社会教育活動が少ないので、そのような活動を推進していきたい。

〔団体名：伊達市文化協会〕

- ・H23.4.1現在の加盟団体数は35団体にのぼる。
- ・主な事業に記載している以外に、昨年度から納涼会を開催している。また、研修旅行や功績表彰を行っている。

〔団体名：つどいサークル「ドロップ」〕

- ・H23.10.13に「いのちの講話」と題した思春期の性や命を考える講演会（別添資料の提出有）を保健センターで開催し、大変大きな反響があった。来年度はより多くの人々に集ってもらえるような場所で講演会等を開催したい。
- ・今後は育児支援や地域支援を行うような団体になりたいと考えている。

（意見）

- ・理念があっても「ドロップ」のようにやり遂げるのは大変なこと。やはり人の力がなければ何も進まないの、説明委員のような活動が出来ることが増えて欲しい。
- ・アピールしたい点に「いつでも、誰でも、ふらっと立ち寄ることが出来る地域の居場所作りを実現させたい・・・」と記載されているが、子供がいなく、PTAとの関わりもなく、文化などのサークルにも入っていないと社会的なつながりがなくなるので「いつでも、誰でも、ふらっと行ける」場所があるのはありがたい。

〔団体名：伊達市立星の丘小中学校の児童・生徒でのサポートチーム〕

- ・星の丘小中学校は伊達市立にも関わらず、伊達市の子供は一人もいない。
- ・親の養育態度に原因があって子供の心に傷を負わせていることが多く、そのような子供が児童相談所を通してバウムハウス（情緒障害児短期治療施設）に入所し、同時に星の丘小中学校に通っている。

〔団体名：「子どもの国フェニックス」（不登校児のサポート）〕

- ・火、水、金曜日に実施している。
- ・通っている子は中学3年生が多い。
- ・フェニックスに来る時は自転車であるが、帰りは同級生に会いたくないのでスモークガラスを貼った親の車に乗って帰る子供もいる。

〔団体名：NPO法人伊達メセナ協会〕

- ・伊達メセナ協会は展示部会、演劇部会、音楽部会、広報部会の4部会で構成されている。
- ・会員が増えないことが悩みである。

〔団体名：伊達子ども劇場〕

- ・基本的には親子での入会としている。
- ・活動費が少なく、経費削減のことばかり考えてしまい、本当に子どもたちのためになっているのか考えることがある。
- ・少しでも親と子、地域とのつながりを持つ団体にしていきたい。

〔団体名：NPO法人有珠火山の会〕

- ・2005年から小中学生を対象にした学習会を開催し、火山の構造などを学んでいる。
- ・火山との共生について学ぶことを目的としており、若い世代に来て欲しいという希望もあるが、見学会は50～60代が多い。
- ・最近では所属人数が少なくなってきており、困っている。

5. その他
特になし

6. 閉 会

